

16 自然公園等

第1表 栃木県の自然公園

	公園名	指定年月日	面積(ha)	概要
国立公園	日光	昭和9年 12月4日	114,908 (うち本県分 103,634)	火山活動によって形造られた変化に富んだ地形で、標高2,000mを超す山岳、高原、湖、渓谷、原始林等の優れた自然景観と、東照宮をはじめとした文化景観が見事な調和をなしている。 日光、尾瀬及び奥鬼怒地域が昭和9年に指定され、昭和25年に、那須、甲子、塩原、藤原、栗山及び足尾地域が追加された。平成19年には、尾瀬地域が本公園から分離、独立している。 全国で7番目に大きな国立公園であり、区域は栃木、群馬、福島3県にまたがっている。
	尾瀬	平成19年 8月30日	37,200 (うち本県分 1,147)	本州最大の高層湿原である尾瀬ヶ原を中心に、非常に自然性が高く、多様な景観が形成された地域となっている。 平成19年に、日光国立公園の尾瀬地域を分離し、これに会津駒ヶ岳及び田代山・帝釈山地域を加えた地域が、29番目の国立公園として成立した。 田代山・帝釈山の一部が本県の区域に含まれる。
	〈計〉152,108(うち本県分104,781)			
県立自然公園	益子	昭和30年 3月1日	2,136	焼物で有名な益子町の東部丘陵山地と茂木町の南部丘陵山地一体で、八溝山系の南端に位置する。 西明寺、綱神社、地藏院等の文化遺産も多い。 高館山周辺は、県内でも最も暖かい地域で、県内の他の地域ではあまり見られない暖温帯の植物や昆虫が生息する一方でブナ等の冷温帯植物が自生するなど珍しい自然環境となっている。
	太平山	昭和30年 3月25日	1,079	栃木市の西方にある丘陵地帯で、太平山からの眺望はすばらしく、「陸の松島」といわれている。 また、太平山神社、大中寺等の文化景観に恵まれている。
	唐沢山	昭和30年 3月25日	1,343	佐野市の北方200m級の丘陵地帯で周囲が平地であるため眺望がすばらしい。藤原秀郷の居城跡の唐沢山神社等がある。
	前日光	昭和30年 3月25日	10,982	日光の南に続く山岳一帯で1,000m級波状高原が中心になっている。広大な展望、美しい自然景観と古い歴史をもつ古峯神社等がある。また、標高差があるため多様な植生の変化が見られ、井戸湿原などでは湿原植物も楽しむことができる。
	足利	昭和31年 11月13日	1,320	足利市の北方の丘陵地帯で名草巨石群(天然記念物)、寺院、神社等みどころも多い。
	宇都宮	昭和35年 3月15日	1,883	宇都宮市の北西部の古賀志山を中心とする低山地帯で、ハイキング、登山、サイクリングなどの利用が盛ん。大谷観音、多気不動尊等の文化遺産も多い。
	那珂川	昭和42年 3月10日	3,001	公園の中心を那珂川が流れ、四季の景観の変化やカヌー・釣りなどの利用で親しまれている。那須烏山市に那珂川国民休養地が整備されている。
	八溝	昭和46年 7月20日	6,918	県北東部八溝山麓に広がる地域で、那須国造碑をはじめ各所に散在する寺社、古墳など歴史を物語る名所・旧跡と田園風景が魅力となっている。
〈計〉28,662				
〈合計〉180,700(うち本県分133,443)				

第2表 自然環境・緑地環境保全地域等指定一覧

(1) 生息地等保護区(国指定)

地域名	市町名	面積(ha)	主要保全対象	指定年月日
羽田ミヤコタナゴ生息地保護区	大田原市	60.60	ミヤコタナゴの生息地	H6.12.26

(2) 自然環境保全地域(国指定)

地域名	市町名	面積(ha)	主要保全対象	指定年月日
大佐飛山(特別地区)	那須塩原市	545.00	すぐれた天然林	S56.3.16

(3) 自然環境保全地域(県指定)

地域名	市町名	面積(ha)	主要保全対象	指定年月日
鷺子山	那珂川町	24.70	南方及び北方系植物の自生地	S48.8.31
氷室	佐野市	773.10	ニホンザル・ヒダサンショウウオの生息地	〃
箒根	那須塩原市	6.20	モミの天然林	〃
親園	大田原市	184.90	イトヨ・ミヤコタナゴの生息地	〃
多田羅沼	市貝町	24.00	湿生植物の自生地	〃
佐貴観音	塩谷町	19.73	チョウゲンボウの生息地	〃
				(一部解除)
				(S54.12.11)
七千山	那須塩原市	691.90	高山植物の自生地 亜高山性植生、ブナ・ミズナラ等の天然林及び 野生鳥獣の生息地	S48.8.31 (追加指定) (S51.1.31)
作原	佐野市	1,278.51	ミズナラ・クリ等の天然林及びヤマネの生息地	S51.1.31
栃久保	佐野市	94.97	ハコネサンショウウオの生息地	〃
長谷場	佐野市	42.17	両生類の生息地	〃
出流山	栃木市	58.59	暖地性シダの自生地及び鍾乳洞	〃
鮎田	茂木町	16.27	トウキョウサンショウウオの生息地	〃
東高原	矢板市	107.28	ブナ・ミズナラ等の天然林	〃
松倉山	那須烏山市	15.12	暖地性植物の自生地	S52.7.19
	茂木町			〃
焼森山	茂木町	74.91	希少植物の自生地	〃
小埜	那須烏山市	5.00	荒川の河蝕地形	〃
石尊山	足利市	34.71	アカマツの天然林	〃
与洲	鹿沼市	173.37	ニホンザルの生息地	〃
岩舟山	岩舟町	7.35	希少植物の自生地、チョウゲンボウ生息地	〃
尾出山(特別地区)	鹿沼市	37.04	ブナの天然林及びウラジロヒカゲツツジの自生地	S53.9.19
南高原(特別地区)	塩谷町	1.60	ヒノキの天然林	〃
根本沢(特別地区)	佐野市	61.57	シオジの天然林、ガロアムシ・ムカシトンボの生息地	S54.12.11
袈裟丸山(特別地区)	日光市	204.21	高山性植生又は亜高山性植生が相当部分占める森林、すぐれた天然林、特異な地形・地質、希少植物の自生地、野生動物の生息地	S57.6.22
湯西川(一部特別地区)	日光市	589.00	トチノキの原生林、冷温帯の自然植生	S61.1.21
尚仁沢(一部特別地区)	矢板市	138.00	尚仁沢湧水、ブナ・ミズナラの天然林	H4.12.18
	塩谷町			
弁天沼	日光市	7.99	希少植物の自生地、カラカネイトトンボの生息地	H11.3.31
鬼怒川中流域	宇都宮市	54.00	シルビアシジミ、カワラノギク等礫質河原特有の希少野生動植物の生息・生育地	H25.10.4
	さくら市			
計		4,726.19		

(4) 緑地環境保全地域

地域名	市町名	面積(ha)	主要保全対象	指定年月日
粟野	鹿沼市	32.06	妙見寺境内林及び粟野城跡周辺	S51.1.31
根本山	真岡市	35.08	能仁寺境内林及びその周辺	〃
常珍寺	芳賀町	4.18	常珍寺境内林	〃
羽黒山	宇都宮市	30.06	羽黒山神社境内林及びその周辺	〃
喜連川	さくら市	1.76	倉ヶ崎城跡周辺	〃
木幡	矢板市	2.27	木幡神社境内林	〃
寺山	矢板市	3.12	寺山観音寺境内林	〃
芦野	那須町	8.19	鏡山温泉神社境内林及びその周辺の緑地	〃
国分寺	下野市	2.04	国分寺跡周辺	S52.7.19
長岡	宇都宮市	3.85	長岡百穴周辺	〃
医王寺	鹿沼市	5.09	医王寺境内林	S53.9.19
惣社	栃木市	4.66	大神神社境内林	〃
星野	栃木市	2.63	星野町山口地内のカタクリ及び三ツ峯地内のセツブンソウ群生地	S61.3.28
金丸	大田原市	2.79	那須神社境内林及び北金丸地内ザゼンソウの群生地	H5.10.5
計		137.78		

第3表 自然公園施設整備事業費の実績

(単位:千円)

年度及び事務所等	合 計		国立公園施設整備費 (直轄)		国立公園等施設整備費		首都圏自然歩道 整備事業費		自然公園等施設整備費		自然公園等施設整備費 (補助金)		奥日光フィールド ミュージアム事業費		奥日光拠点エリア 整備事業費	
	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費	箇所	事業費
平成21年度	45	438,689	3	142,550	-	-	15	77,614	24	133,549	-	-	3	84,976	-	-
平成22年度	28	284,288	2	90,670	-	-	2	11,780	22	165,439	1	6,590	1	9,809	-	-
平成23年度	35	308,792	2	16,678	-	-	-	-	31	265,092	1	14,800	1	12,222	-	-
平成24年度	32	196,578	1	28,581	-	-	-	-	27	146,907	3	15,627	-	-	1	5,463
平成25年度	30	292,093	4	126,120		0		0	22	129,506	2	11,520	1	5,670	1	19,278
事務所別内訳 (25年度)	県西	14	208,379	2	94,141				10	89,290			1	5,670	1	19,278
	県東	1	987						1	987						
	県北	13	74,789	2	31,979				10	36,290	1	6,520				
	県南	1	5,000								1	5,000				
	矢板	1	2,938						1	2,938						
	自然環境課	0	0													